

10/19(金)

一斉パトロールとキャンペーンで
防犯PR

菊池安全安心パトロール隊一斉パトロール出発式が菊池市役所で行われ、菊池安全安心パトロール隊(堀野誠也隊長)と菊池警察署(中口俊宏署長)から計60人が出席しました。一斉パトロールでは、青色回転灯を搭載した防犯パトロール車と同署のパトカー計11台に分乗し、市内5地域に分かれて巡回し、市内2カ所の商業施設で買い物客らにカギかけなどを訴えるチラシを配布し、防犯を呼びかけました。

また、パトロール後の報告会では、隊員から「各小学校で作成されている防犯マップを集約し、市内危険箇所の確認をするなど、今後の巡回に活用したい」との意見がありました。



一斉パトロール後に菊池市役所であった報告会

10/27(土) 中原ふるさと祭

中原区(原川欣二区長)のグラウンドで「中原ふるさと祭」があり、たくさんの区民などで賑わいました。「子供たちに夢を!高齢者に生きがいを!」をテーマに、今回初めて行われたもので、企画から準備までを区民でつくる祭り実行委員会が行いました。

だご汁や焼き鳥などの出店が並ぶ中、カラオケやライブ、じゃんけんゲーム、大正琴の披露などがあり、参加した区民たちは秋の1日を楽しみました。

原川区長は「この祭を通して益々元気な『ふるさと』になればと思います」と話されました。

「中原ふるさと祭」
中原区グラウンドであった



10/28(日) 新しい郷土会「東京菊池会」が誕生



あいさつをする
平山会長

「東京菊池会」の設立総会が、東京都内のホテルで総勢80人が参加して開催され、新しい郷土会が誕生しました。会長には平山正剛氏、副会長には中嶋幸四郎氏、岩根忠雄氏、石坂玲子氏が就任し、理事9人、監事2人、会計1人、事務局1人の役員も選出されました。

総会後の「ふるさと菊池のつどい」では、平山会長が「新しいふるさと、菊池の歴史や文化、そして、素晴らしい自然を大切に、千年後に残る菊池市づくりを応援していきたい」とあいさつ。福村市長からは、新しい郷土会設立への御礼と支援の約束や企業誘致などへの協力のお願いがあり、来賓の北田議長、東京県人会の木下副会長からも祝辞がありました。懇親会では、ふるさとの思い出話などで大いに盛り上がりしました。



東京都内であった設立総会・懇親会

10/26(金)

菊池市出身の山下稔文さんが全国矯正職員
武道選手権大会剣道の部で日本一に!

大阪刑務所武道館で開催された全国矯正職員武道選手権大会剣道の部で、菊池市河原出身の山下稔文(やましたとしふみ)(剣道5段・28歳)さんがみごと優勝し、全国の刑務所・少年院などに勤務する矯正職員約25,000人の頂点に輝きました。

山下さんは、平成8年3月に菊池南中学校を卒業し、剣道の名門である鎮西高校、国士舘大学へと進み、平成15年4月から宮崎刑務所に勤務されています。

山下さんは「小学生時から剣道を続けてきて、こんなに嬉しいことはありません。今後も練習に励み、矯正の大会ばかりでなく宮崎県代表として全日本剣道選手権や国体に出場することも目標に頑張っていきたいです」と喜びを話されました。



全国矯正職員武道選手権大会剣道の部で日本一に輝いた山下さん

10/17(水) 菊池川の日スペシャル

菊池市ほか8市町で構成する菊池川流域同盟が菊池川保全の啓発のために毎年実施している「菊池川の日スペシャル」のイベントが植木町生涯学習センターで開催されました。菊池川の監視などで活躍している水援隊員の紹介や、阿蘇を拠点に音楽活動をしているデュオグループ「Viento(ヴィエント)」の水物語コンサートなどがありました。

富士山の麓でスローライフを実践している元あかねの清水國明さんが、『借りている地球の使い方〜この美しい森と川と湖を守るために〜』と題して講演しました。清水さんが「今の社会は、もっと便利で、もっと快適であることを求めているが、本当の人間らしく生きるためには、自然に帰ることが原点だ」などと、楽しいエピソードを交えながら話し、約300人の聴衆は熱心に聞き入っていました。

また、会場内には各市町で水環境の保全などで活躍しているボランティア団体(菊池市からは「泗水きれいな水と命を守る会」が出席)による廃油石鹸の展示、国土交通省コーナー、菊池川の魚コーナーなどの展示があり、特に菊池川の魚とふれあうコーナーでは多くの子どもたちで賑わいました。



「人間らしく生きるためには…」と講演する清水さん

10/20(土)・21(日)

きくち湯遊ソーデーウォーク(竜門ダムウォーク、七城コスモスウォーク)、菊池市七城ふるさとコスモスまつり

きくち湯遊ソーデーウォークが竜門ダム周辺と、七城総合グラウンド・菊池川河川敷七城リバーサイドパーク周辺でそれぞれあり、たくさんの人が心地よい秋晴れの中、爽やかな汗を流しました。

1日目にあった竜門ダムウォークでは、6km・10km・20kmに分かれた参加者がそれぞれのペースで雄大な自然を満喫しながら散策しました。2日目にあったコスモスウォークでは、5km・10kmに分かれた参加者が菊池川・迫間川河川敷に咲く150万本のコスモスを観賞しながら秋の心地よい風とともに散策しました。

また、20日(土)にあった前夜祭では、七城リバーサイドパークと対岸を結ぶ歩道橋「コスモブリッジ」と、満開のコスモスが幻想的にライトアップされる中、地元の七城中学校吹奏楽部の演奏をはじめとする各種団体のステージ披露がありました。メインの打上げ花火や仕掛け花火がコスモスとともに、会場周辺を色鮮やかに飾り、訪れた家族連れなどを魅了しました。



満開のコスモスを眺めながら歩く参加者



前夜祭でのステージ披露(上)と打上げ花火(右)



自然を満喫しながら竜門ダム周辺を散策する参加者



10/18(木) 清水神楽

七城町清水区にある清水若宮神社で、民俗芸能の神楽があり、地元区民などが見守る中で、おごそかに行われました。

毎年同神社の祭日に合わせて行なわれているもので、地元の清水神楽保存会(前田義誠会長)により、「神舞」と「弓剣舞」の2座が奉納されました。

前田会長は「メンバー12人の平均年齢は65歳です。後継者がいなくて苦労していますが、地域の伝統行事を後世に残すため、どうにかして続けていきたいです」と話されました。



「神舞」を舞う保存会のメンバー